

## 日精協マスタープラン(15年3月)による退院可能患者数の推計

1. 能力障害5段階(精神保健福祉手帳)と精神症状6段階(日精協版)で評価  
2. 現行社会復帰施設利用により退院可能な患者を精神症状1・2と能力障害1・2のグループとし、そのうち3年以上入院者を対象とし、この中から痴呆など器質性精神障害、アルコール症など精神作用物質による障害、精神遅滞をのぞいた患者数を全国換算(注1)すると、

・・・22,300人

3. 今後整備されるべき施設への移行を想定すると、対象患者は、「精神症状3×能力障害1・2」と「精神症状1・2×能力障害3」のグループに入る患者群で、前記同様の除外と換算によりその数は、

・・・16,300人

4. したがって、合計

・・・38,600人

がマスタープランによる退院可能推計患者数となる。

ただし、**なぜ痴呆、中毒、知的を除くのか**という疑問はある。こうした群もそれぞれ、しかるべき社会資源を利用して退院できるはずだからである。日精協マスタープランはなんとか数値を低く見積もろうとしているのではないかと考えざるをえない。

## 澤論文の推計

しかし、同じ調査資料にもとづいて、澤論文は、**開放処遇の5年以上入院者**について、35,000人は、地域移行への対象者であり、さらに手厚いサポートによって、能力障害4、精神症状4まで対象を拡げると、45,000人と推計されるとしている。これを全国換算すると、

・・・64,000人

## 人権センターの試算

1. 日精協にならって、**かりに対象を統合失調症に限定**する。精神症状4、能力障害4は、現在の外来患者のなかに少なくはない状態像であることを勘案し(澤論文も同様趣旨)、この患者群を含めて地域におけるサポートの対象として考え、かつ入院3年以上に限定するとして、

$110,974$  (精神症状 $4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1$ ×能力障害 $4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1$ )× $0.66$  (入院3年以上の割合・・・注2) =  $73,242$

これを全国レベル(注1)に換算すると

・・・104,364人

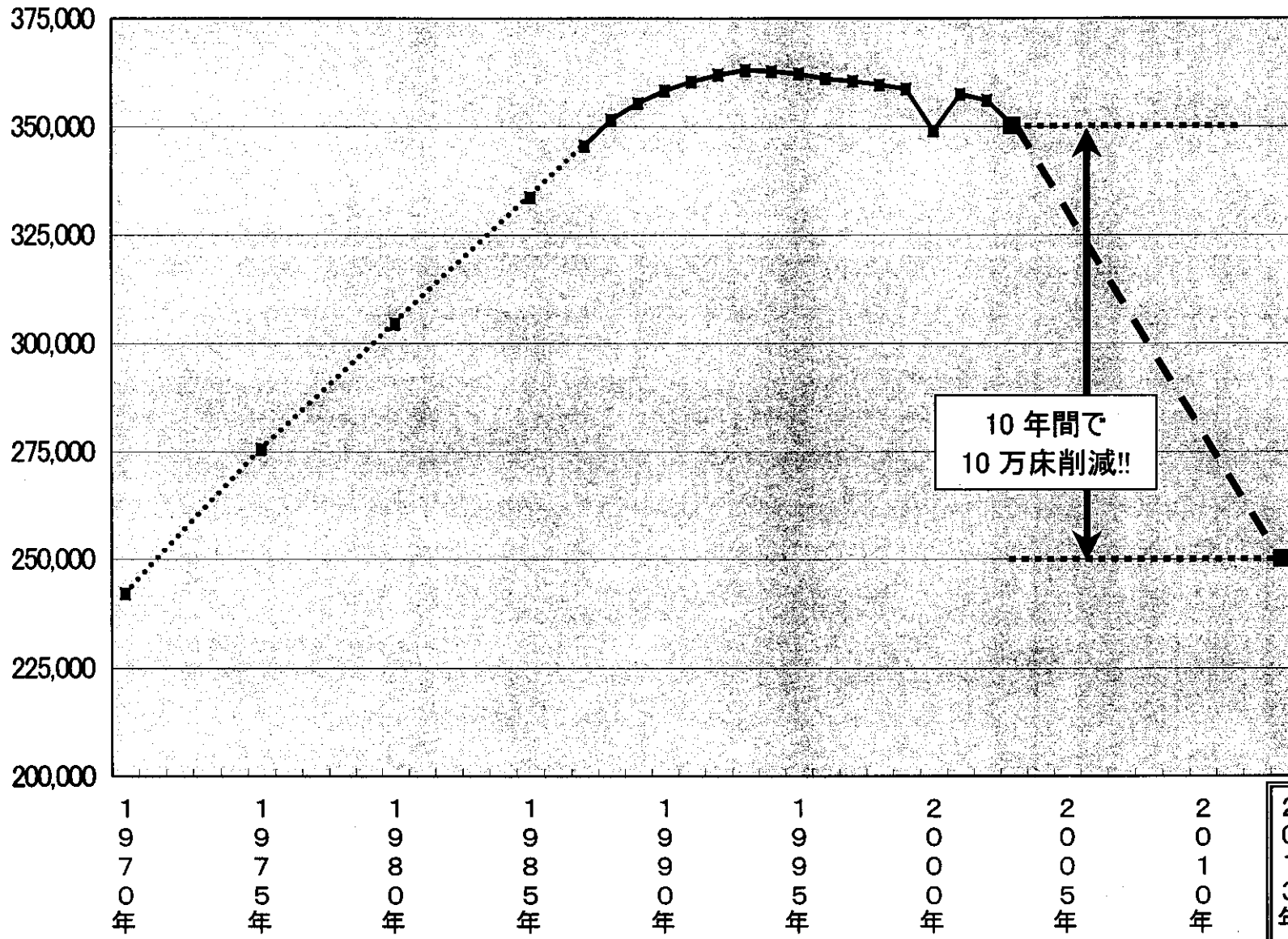
これに**統合失調症以外の疾患群を入れるとさらに増える**が、少なくとも10万を超える入院者が退院可能であるといえる。

参考・・・日精協雑誌22巻6号43pなど

注1・・・×333,003(全在院患者数)÷233,700(日精協の全調査対象数)

注2・・・「平成14年マスタープラン調査データ集」の表99「統合失調症圏の年齢と在院期間」より、 $(15,047+23,918+26,725+32,076) \div 148,798$

# 精神病床数の推移(今後の目標値も含めて)



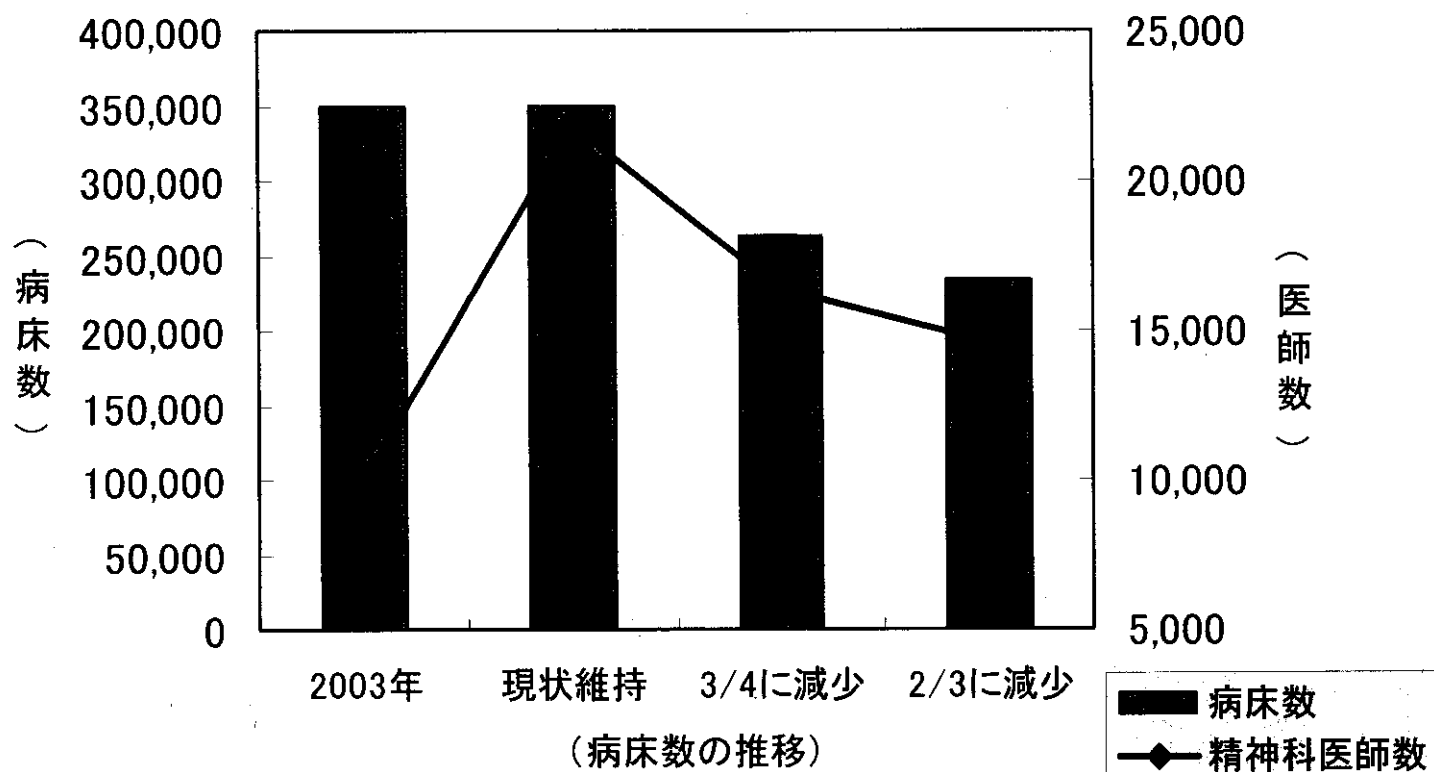
年次	精神病床数
1970(S45)年	242,022
1975(S50)年	275,468
1980(S55)年	304,469
1985(S60)年	333,570
1987(S62)年	345,495
1988(S63)年	351,469
1989(H元)年	355,334
1990(H2)年	358,251
1991(H3)年	360,303
1992(H4)年	361,896
1993(H5)年	363,010
1994(H6)年	362,692
1995(H7)年	362,154
1996(H8)年	361,073
1997(H9)年	360,432
1998(H10)年	359,563
1999(H11)年	358,609
2000(H12)年	348,966
2001(H13)年	357,388
2002(H14)年	355,966
2003(H15)年	※ 350,000
↓ 10年間で10万床削減!!	
2013年	※ 250,000

資料：2001年まで「病院報告」、2002年は「医療施設調査」による。

※印：2003年の病床数を35万床と仮定し2013年は目標値として設定。

## 病床削減にともなう精神科医師の必要数

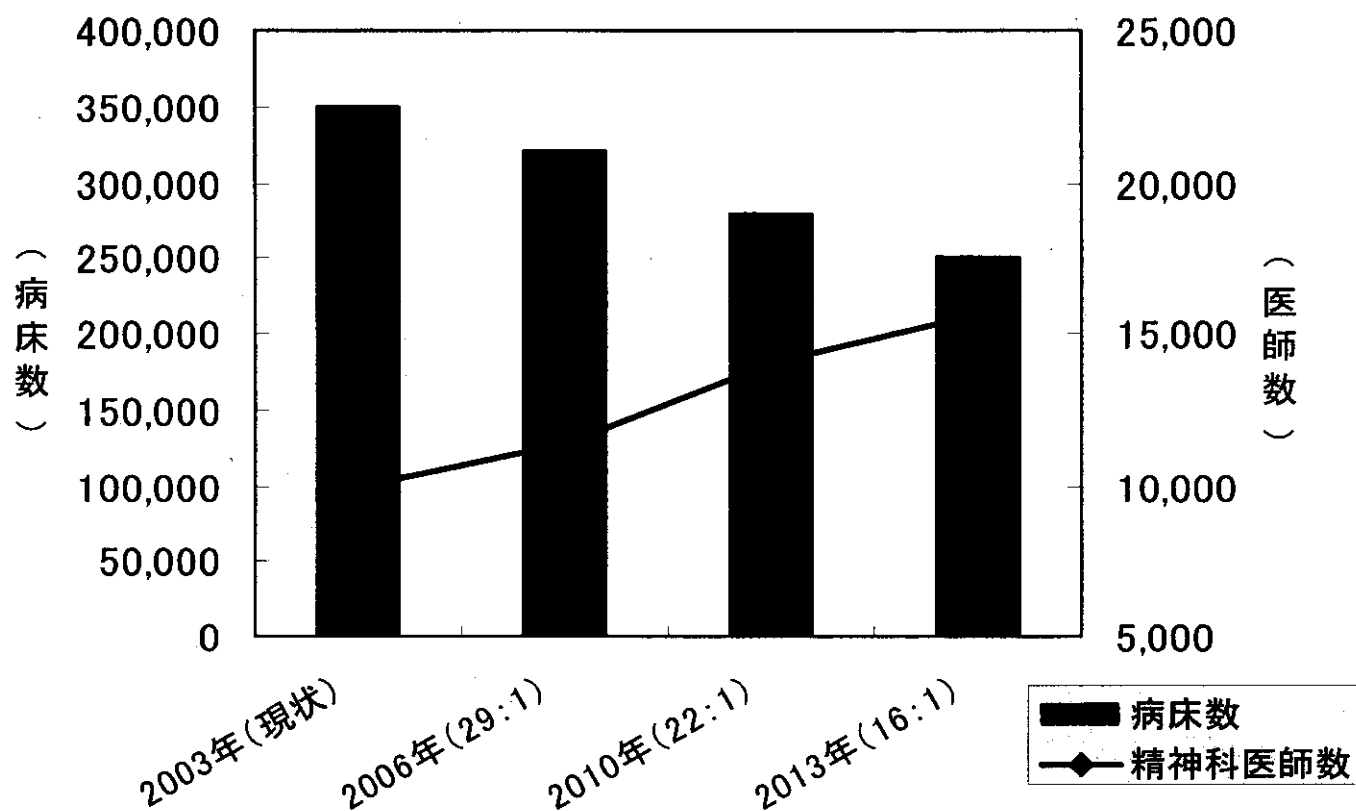
(人員配置 16:1 の場合)



	病床数	精神科医師 必要数
2003年 (現状)	350,000	10,000
現状病床数、人員配置 16 : 1	350,000	21,875
病床数 3/4、人員配置 16 : 1	262,500	16,406
病床数 2/3、人員配置 16 : 1	233,333	14,583

注意：2003年の病床数を35万床と仮定した場合。

## 病床削減と人員配置の見直しによる精神科医師の必要数



	病床数	精神科医師 必要数
2003年(現状)	350,000	10,000
2005年(人員配置 32:1)	320,000	11,429
2010年(人員配置 24:1)	280,000	14,000
2020年(人員配置 16:1)	250,000	15,625

注意：2003年の病床数を35万床と仮定した場合。